

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	勤労者住宅資金利子補給事業	所管	市民経済部 商工労政課
			TEL 2998-9155

事業の目的 (何の為に 行うか)	勤労者に対し、既貸付分の利子補給を行うとともに、住宅のリフォーム等に要する資金の融資を行い、もって勤労者の福祉の向上を図る。
------------------------	----------------------------------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	既貸付者及び市内において1年以上居住している住宅を補修しようとする勤労者	対象とした数	121,000	人
		実際に 利用した数	158	人

活動の内容 (何を したか)	1. 貸付けを希望する利用者が市に申請する。 2. 市は資格要件等の審査を行い、利用適格者と判断した場合には利用資格決定の通知をする。 3. 利用適格者は指定金融機関(中央労働金庫所沢支店)に貸付けの申込みをする。 4. 指定金融機関は、速やかに償還能力等の審査を行い、貸付けの可否を決定する。 5. 市は、半期ごとに、貸付残高に利子補給率(利用者の金利負担軽減分)を乗じ、指定金融機関に利子補給金を交付する。 6. 既貸付者は、自動的に利子補給を受けられる。							
	活動実績	項目名	貸付実行額	0	項目名		項目名	
			単位 万円					

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	5,145	3,619	5,310	15.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利子補給額		5000 単位 千円	3619 単位 千円	138.2 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 * 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了	終了	休止		
	予算	現状どおり	増額	* 減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし その他〔 〕 終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	031100	TEL	2998-9155		
事業コード	031132 勤労者住宅資金利子補給事業							
開始年度 昭和 48 年度 ー 終了年度 平成 年度								
開始年度		昭和	48	年度	ー	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市勤労者住宅補修資金貸付規則、所沢市勤労者等融資制度資金利子補給金交付要綱							
	関連・類似事業								
	総会計の体系	政策	第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	6節 労働環境	中柱	2 勤労者福祉の推進	小柱	(2) 勤労者貸付制度の利便性の向上
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 16 位		・実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>
事業開始の背景		人口の急増に伴い、勤労者の持家取得の面が立ち遅れていることに対応し、導入された事業であるが、近年は持家取得等の有担保貸付が激減してきたので、リフォーム貸付け等に対応した無担保貸付に特化して事業を行うこととなった。							

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)									
	勤労者に対し、既貸付分の利子補給を行うとともに、住宅のリフォーム等に要する資金の融資を行い、もって勤労者の福祉の向上を図る。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	既貸付者及び市内において1年以上居住している住宅を補修しようとする勤労者					利子補給を受けた人				
対象数		単位		平成 18 年度	121,000	人	利用数		単位	
				平成 19 年度	121,000	人				
				平成 18 年度					176 人	
				平成 19 年度					158 人	
事業の具体的な内容及び実施方法										
1. 貸付けを希望する利用者が市に申請する。 2. 市は資格要件等の審査を行い、利用適格者と判断した場合には利用資格決定の通知をする。 3. 利用適格者は指定金融機関(中央労働金庫所沢支店)に貸付けの申込みをする。 4. 指定金融機関は、速やかに償還能力等の審査を行い、貸付けの可否を決定する。 5. 市は、半期ごとに、貸付残高に利子補給率(利用者の金利負担軽減)を乗じ、指定金融機関に利子補給金を交付する。 6. 既貸付者は、自動的に利子補給を受けられる。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])							
			<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)							
	予算		<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
平成19年度中に改善した点										
住宅補修資金については、規則に合致すれば、耐震補修やアスベスト除却補修にも対応するものとした。										

⑤経費	《会計種別》		一般会計		平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算				6,288	5,145	4,454
	決算(見込み含む)				4,428	3,619	
	(嘱託職員)(臨時職員)		(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.09 人	828	0.18 人	1,691	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費						
	事業費合計				5,256	5,310	
	財源内訳		一般財源		5,256	5,310	4,454
			国・県支出金				
			受益者負担金				
		市債					
		その他					
市民一人当たり(単位:円)				15.6	15.7		
利用数一単位あたり(単位:円)				29,863.6	33,607.1		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	貸付実行額	万円	0	0		
	成果分析	利子補給額	千円	目標値	6000	5000	
			%	実績	4428	3619	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				達成率	135.5	138.2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	明らかとなった課題	本事業の周知を図っているが、新規の利用者は少ない状況にある。これは、市中金融機関のプロパー資金が利用されているものと考えられる。		
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	住宅補修資金の貸付を増やす。	本事業の周知を図り、利用者の増加を図る。	今年度
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由 既貸付者の償還は順調に進んでいるので、予算総額は減少傾向にある。				
評価日 平成20年5月16日 記入者職氏名 商工労政課長 尾村俊和				

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由 評価日						
⑩環境基本計画	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由 評価日	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	2233		
基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます						
主要課題	2仕事と子育ての両立の推進						
施策の方向	3就労環境改善へ向けた働きかけ						